

平成 29 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 釧路愛育協会

法 人 事 務 局

総 括

昨年度に引き続き平成 29 年度においては、社会福祉法の改正に伴う社会福祉法人「経営組織のガバナンス（経営統治）の強化」、「運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取り組みを実施する責務」を大きな柱とした制度改革を実施し、釧路愛育協会においても理事会及び評議員会を刷新し、新たな役員体制を構築することができた。

一方で社会福祉法人を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、少子高齢化が生む「人口減少」から、今後、介護や障がい、子育て支援等を支える人材確保も重要な課題となってきたため、「法人研修委員会」を立ち上げ全施設の職員を対象とした職員研修を実施し、愛育協会の誕生から現在に至る歴史を振り返ることにより、我々の先達から脈々と続いてきた実践や理念を軸にしなが、最近の社会福祉制度の改革への対応や、地域共生社会の実現に向けた取り組み等、利用者、子どもをはじめ地域社会から求められているニーズに対して積極的に取り組み、魅力ある法人づくりを進めて行くことを確認することができた。

平成 29 年度重点目標では、(1) 法人施設整備計画の策定について、「養護老人ホーム長生園の改築計画基本構想」に基づき改築計画を進める中、8 月に釧路市による第 7 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画のヒヤリングが実施され、改築計画基本構想で予定している事業及び規模などについて提言するとともに、法人として計画年度等のスケジュール案についても釧路市と共有することができた。今後は、釧路市の協力の下、改築計画を進めて行くことになった。愛光保育園の老朽改築については、施設の方向性（認定こども園への移行）を進めながら具体的な検討を行っていく。

(2) 法人人材育成研修体制の構築と研修計画については、法人事務局及び研修委員会によって、将来の法人幹部職員及び新任職員の育成を目的とした研修を実施することができた。平成 30 年度では、さらに研修内容を拡大し一般職員や専門職によるテーマについて取り組み、施設の職員間の交流も兼ねた充実した研修の定着を図っていく。

(3) 法人組織・職員区分等法人内制度改革の実施では、各施設の適正運営を継続するため、法人内組織の強化として事務局員の増員を行った。また、雇用関係の法律改正等に基づき、平成 31 年度に職員区分（無期契約・有期契約労働者）の新たな制度構築に向け具体案を作成していく。

(4) 職員に対する給与等待遇改善の実施では、職員の給与体系（初任給基準）の見直しや処遇改善手当の増額等において待遇改善を進めることができた。さらに、臨時・パートタイム職員の賃金についても最賃改定とともに増額することができた。

(5) 地域公益活動の促進では、社会福祉法人としての責務としての地域社会に貢献する活動として、長生園職員により北海道並びに釧路市社会福祉協議会と協働（モデル事業）して、「日常生活自立支援事業」に取り組み今後につながる成果を上げることができた。さらに各施設・事業所においても積極的に地域公益活動に取り組むことができた。

社会福祉法人は「新たな時代に対応した福祉提供ビジョン」を本来の利用者主体の運営とともに、制度の狭間のニーズに対する取り組み等、地域課題への取り組みの中核となつてその役割と使命を果たしていく事が求められている。各施設の枠組みと特徴（高齢者・障がい者・子ども）を活かした運営の充実と法人の専門性と地域における信頼感、存在感を生かし、他の関係機関と協働して釧路市の福祉環境整備に積極的に参画していくことが期待されている。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
<p>1. 評議員会</p> <p>第1回 平成29年6月15日(木) 平成28年度事業報告、決算の認定、理事及び監事の選出及びその他の案件</p> <p>第2回 平成29年9月28日(木) 平成29年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第3回 平成29年12月21日(木) 平成29年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第4回 平成30年3月22日(木) 平成30年度事業計画および予算並びにその他の案件</p>	<p>1. 評議員会</p> <p>第1回 H29.6.15 出席者 7名 報告事項 (1) 法人監査に関する件 (2) 理事長の専決事項に関する件 (3) 長生園改築計画に関する件 (4) 平成28年度決算監査報告</p> <p>議案 第1号 諸規程の一部改正について (1) 経理規程 (2) 事務規程 (3) 就業規程 (4) 臨時職員規程 (5) パートタイム職員規程 (6) 長生園運営規程 (7) 長生園特定施設入居者生活介護事業所運営規程 (8) 長生園訪問介護事業所運営規程 (9) デイサービス武佐いこい運営規程</p> <p>第2号 平成28年度 事業報告について 第3号 平成28年度 決算の認定について 第4号 制度改正による任期満了に伴う、役員の選任について</p> <p>第2回 H29.9.28 出席者 7名 報告事項 (1) 法人監査に関する件 (2) 長生園改築計画に関する件 (3) 辞任に伴う評議員選任・解任委員会の決議結果に関する件</p> <p>議案 第1号 諸規程の一部改正について (1) 事務規程 第2号 平成29年度 第1次補正予算の認定について 第3号 辞任に伴う、理事の選出について</p> <p>第3回 H30.1.26 出席者 6名 報告事項 (1) 法人監査に関する件</p> <p>議案</p>

事業計画	実施状況
	<p>第1号 諸規程の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 臨時職員規程 (2) パートタイム職員規程 (3) 鶴が丘学園運営規程 (4) 鶴が丘学園短期入所事業運営規程 <p>第2号 平成29年度 第2次補正予算の認定について</p> <p>第3号 人事案件</p> <p>第4回 H30.3.22 出席者 6名</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 法人監査に関する件 (2) 平成29年度保育所等指導監査及び障害者総合支援法による実地指導の結果に関する件 <p>議案</p> <p>第1号 諸規程の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事務規程 (2) 給与規程 (3) 就業規程 (4) 臨時職員規程 (5) パートタイム職員規程 (6) デイサービス武佐いこい運営規程 <p>第2号 平成29年度 第3次補正予算の認定について</p> <p>第3号 平成30年度 事業計画並びに予算の認定について</p> <p>第4号 人事案件</p>

事業計画	実施状況
<p>2. 理事会</p> <p>第1回 平成29年5月31日(水) 平成28年度事業報告、決算の認定、理事及び監事の選出及びその他の案件</p> <p>第2回 平成29年6月15日(木) 代表理事及び常務理事の選出</p> <p>第3回 平成29年9月20日(水) 平成29年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第4回 平成29年12月13日(水) 平成29年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第5回 平成30年3月14日(水) 平成30年度事業計画および予算並びにその他の案件</p>	<p>2. 理事会</p> <p>第1回 H29.5.31 出席者 8名 報告事項 (1) 法人監査に関する件 (2) 理事長の専決事項に関する件 (3) 長生園改築計画に関する件 (4) 平成28年度決算監査報告</p> <p>議案 第1号 諸規程の一部改正について (1) 経理規程 (2) 事務規程 (3) 就業規程 (4) 臨時職員規程 (5) パートタイム職員規程 (6) 長生園運営規程 (7) 長生園特定施設入居者生活介護事業所運営規程 (8) 長生園訪問介護事業所運営規程 (9) デイサービス武佐いこい運営規程</p> <p>第2号 平成28年度 事業報告について 第3号 平成28年度 決算の認定について 第4号 制度改正による任期満了に伴う、役員候補者の推薦案について</p> <p>第2回 H29.6.15 出席者 7名 議案 第1号 理事長及び常務理事の選任について</p> <p>第3回 H29.9.20 出席者 7名 報告事項 (1) 法人監査に関する件 (2) 長生園改築計画に関する件</p> <p>議案 第1号 諸規程の一部改正について (1) 事務規程 第2号 平成29年度 第1次補正予算の認定について 第3号 辞任に伴う理事候補者の推薦について 第4号 辞任に伴う評議員候補者の推薦について 第5号 評議員選任・解任委員会開催日について</p> <p>第4回 H30.1.18 出席者 8名 報告事項</p>

事業計画	実施状況
	<p>(1) 法人監査に関する件</p> <p>議案</p> <p>第1号 諸規程の一部改正について</p> <p>(1) 臨時職員規程</p> <p>(2) パートタイム職員規程</p> <p>(3) 鶴が丘学園運営規程</p> <p>(4) 鶴が丘学園短期入所運営規程</p> <p>第2号 平成29年度 第2次補正予算の認定について</p> <p>第3号 人事案件</p> <p>第5回 H30.3.14 出席者 8名</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 法人監査に関する件</p> <p>(2) 平成29年度保育所等指導監査及び障害者総合支援法による実地指導の結果に関する件</p> <p>議案</p> <p>第1号 諸規程の一部改正について</p> <p>(1) 事務規程</p> <p>(2) 給与規程</p> <p>(3) 就業規程</p> <p>(4) 臨時職員規程</p> <p>(5) パートタイム職員規程</p> <p>(6) デイサービス武佐いこい運営規程</p> <p>第2号 平成29年度 第3次補正予算の認定について</p> <p>第3号 平成30年度 事業計画並びに予算の認定について</p> <p>第4号 人事案件</p>

事業計画	実施状況
<p>3.監 査</p> <p>第1回 平成29年5月29日(月) 平成28年度決算及び運営の 執行状況</p> <p>第2回 平成29年7月24日(月) 平成29年度第1四半期会計 及び運営の執行状況</p> <p>第3回 平成29年10月23日(月) 平成29年度第2四半期会計 及び運営の執行状況</p> <p>第4回 平成30年1月22日(月) 平成29年度第3四半期会計 及び運営の執行状況</p> <p>第5回 平成30年3月26日(月) 平成29年度第4四半期会計 及び運営の執行状況</p>	<p>3. 監 査</p> <p>第1回 H29.5.29 出席者 2名 (1) 平成28年度決算及び運営の監査</p> <p>第2回 H29.7.24 出席者 2名 (1) 平成29年度 第1・四半期 法人及び施設の 運営状況監査</p> <p>第3回 H29.11.10 出席者 2名 (1) 平成29年度 第2・四半期 法人及び施設の 運営状況監査</p> <p>第4回 H30.1.22 出席者 2名 (1) 平成29年度 第3・四半期 法人及び施設の 運営状況監査</p> <p>第5回 H30.3.26 出席者 1名 (1) 平成29年度 第4・四半期 法人及び施設の 運営状況監査</p>

事業計画	実施状況
4. 永年勤続職員表彰	4. 永年勤続職員の表彰 実施 平成30年1月12日 勤続年数 20年 3名
5. 役員研修会	5. 役員研修会 「介護報酬改定を見据えた施設の経営と運営」 日時 平成29年11月30日 会場 中標津トーヨーグランドホテル 参加 理事1名
6. 法人研修会	6. 法人研修会 (1) 釧路愛育協会幹部職員研修 日時 平成29年12月5日・1月29日 会場 長生園会議室 参加 11名・10名 (2) 釧路愛育協会新任職員研修 日時 平成30年1月16日・1月23日 会場 長生園会議室 参加 18名・19名

長 生 園

平成29年度における事業運営は、事業計画に基づき他の社会資源では受け止めることが困難な方々にも、広く対応した入所支援を実施することができた。これにより、養護老人ホームの役割のひとつである「ラストセーフティーネット」の実践が実現した。

しかし、入所者状況としては、平均入所人員145.4名と昨年度を5.9名上回った。在宅生活している高齢者だけではなく、医療機関、行政との連携によって養護の必要な入院している高齢者の退院先としても機能した年度になった。

そういった状況の中、平成29年度事業計画重点項目の(1)に掲げた「内容を工夫した余暇活動の実施」は、新たな取り組みを増やしたことで、参加人数が増えてきている。また、買い物レクを実施したことで、個別のニーズにも対応することができた。

(2)の重点項目である「個々の利用者の課題を見つけ、その解決方法の糸口を共に探す」にあつては、完全に解決のできない課題もあったが、利用者又は家族と共に、個別的にそれぞれの課題について考え、解決に努めた。

(3)の重点項目である「多職種で連携し、利用者の健康維持に努める」にあつては、他職種との情報共有と予防の徹底により、感染症を最小限に抑えることができた。また、利用者の体調変化などの情報についても円滑に共有することができ、疾患の早期発見に至ることができた。

(4)「利用者の「喜び」や「楽しみ」につながる食事の提供と望ましい食行動の変容につながる情報提供の実施」にあつては、季節を感じることでできる献立を定着することができた。また、栄養教室の実施

やポスターの掲示により食に関わる情報を提供することもできた。

(5)「地域包括支援センター等の関係機関との連携・協働の促進」にあつては、地域生活定着支援センターや保護観察所、刑務所とも連携することで、地域での生活が難しい福祉課題の多い方のケースについても検討や情報交換を実施することができた。

(6)「地域貢献活動の促進」にあつては、北海道社会福祉協議会及び釧路市社会福祉協議会との協働で、日常生活自立支援事業の社会貢献事業モデルとして地域の方々に地域支援を実践することができた。今後も連携・協働に努めていきたい。

(7)「長生園改築計画を進めるため、基本構想を策定する」では、法人及び改築準備委員会において「養護老人ホーム長生園改築計画基本構想」を策定した。

社会状況の変化や諸制度の整備に伴い、養護老人ホームの役割も大きく変わってきている。そういった中、養護老人ホームの支援機能の再定義が求められており、地域での自立を支える拠点施設として機能していく養護老人ホームの必要性があげられている。長生園としても、施設内サービスに止まることなく地域の福祉を支えるためのアウトリーチを各関係機関との連携・協働によって実践していきたい。もちろん、現在入所している利用者の最善の利益の追求を実践についても継続して取り組み、利用者の日常生活が健全で安らかなものとなるよう努力していくとともに、高齢者福祉施設として高齢者福祉の増進・発展のため、施設内外の研修や資格取得により、職員個々の技術や意識の向上を図っていきけるよう自己研鑽を深めることにも努め続けていきたい。

また、「養護老人ホーム長生園」は職員一人ひとりが力を繋げ合う「最高のチーム」だという意識の下、さらに魅力ある施設づくり、職場づくりにチーム一丸となってチャレンジし続けていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 内容を工夫した余暇活動の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、身体機能の維持・向上ができるように内容を工夫し、計画をたて実施できた。 クラブは、決まった利用者の参加も多かったが、新しい取り組みを増やしたことで参加人数も増えてきている状況であった。 さらに、余暇活動も幅広い内容の活動を実施することができ、楽しみも増え利用者同士の交流も図ることができた。 新たに計画した買い物レクにおいては、一人一人目当ての品を購入し笑顔に溢れていたもので、少人数での実施も組み入れていきたい。
2) 個々の利用者の課題を見つけ、その解決方法の糸口を共に 探す	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズは年々多様化してきており、さまざまな課題や不安を個々に抱えている。完全なる問題解決までには至らなかったケースもあるが相談員として個別的に受け止め、利用者またはご家族と共に考えその都度、解決に近づけるように努めてきた。 今後も相談援助のみならず精神面への援助や、ご家族との関係調整、多職種、他機関との連携促進に努めていきたい。 ・相談援助実践によって経験値を高め、相談員としてのスキルアップは図ることができた。

3) 多職種で連携し、利用者の健康維持に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、インフルエンザ、ノロウイルス発生者が1名と最少限度で食い止められていた為、日頃からの予防の徹底と他職種との情報共有ができていたと思われる。また発生時、迅速な対応ができた。 ・利用者全員の健康状態の把握が難しく、利用者とのコミュニケーションもなかなかとれなかったが、他職種から、利用者の情報ももらい疾患の早期発見ができた。 	
4) 利用者の「喜び」や「楽しみ」につながる食事の提供と望ましい食行動の変容につながる情報提供の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種の協力を得ながら、季節を感じる食事を日々の献立の中に組み入れ定着させることができ、利用者の食に対する楽しみにつなげることができたと思う。 ・嗜好調査の実施によって、利用者の思いを知ることができた。今後は結果を食事に反映させ、利用者の喜びにつなげていきたい。 ・栄養教室の実施(年4回)、ポスターの掲示等で食に関わる情報に努めてきた。 	
5) 地域包括支援センター等の関係機関との連携・協働の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活定着支援釧路センターや保護観察所との連携によって、司法と福祉の繋がりを実践することができた。 ・釧路社会的企業創造協議会等との連携により、生活困窮者の自立支援促進に努めることができた。 	
6) 地域貢献活動の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・道社協及び釧路市社協と協働した、日常生活自立支援事業の社会福祉法人の社会貢献事業モデルの実施を継続。地域の対象者に地域支援を実践できた。 	
7) 長生園改築計画を進めるため、基本構想を策定する	<ul style="list-style-type: none"> ・法人及び改築準備委員会において「養護老人ホーム長生園改築計画基本構想」を策定した。 	
8) クラブ活動	活動・実施年月日・回数等	参加人数(名)
	(1) リズムサークル 延 12回	186
	(2) 楽々工房 // 24 //	333
	(3) ゲートボール同好会 // 14 //	67
	(4) カラオケの日 // 23 //	538
	(5) トランプの日 // 4 //	83
9) 健康教室	(1) 平成29年 5月15日	41
	(2) 平成29年11月 2日	35
	(3) 平成29年12月 4日	40
	(4) 平成30年 3月23日	30
10) 栄養教室	(1) 平成29年 6月 1日	40
	(2) 平成29年 8月 2日	30
	(3) 平成29年10月 2日	36
	(4) 平成30年 2月 1日	45
11) 機能訓練等	(1) 体 操 毎 日	
	(2) ハッピーレク 延 12回	252

12) 職員研修 (外部研修)	月	日	研修名	参加
	7	20~21	釧根地区老人福祉施設協議会 総合研修Ⅰ	8
	7	27~28	新任経理・総務担当者研修	1
	8	3~4	新任相談員研修	1
	8	22~23	看護師専門研修	1
	8	30~31	北海道老人福祉施設研究発表会	3
	9	1	釧根地区老人福祉施設協議会 個別研修(1)	5
	9	7	特定給食施設等管理者研修会	1
	9	12	釧根地区老人福祉施設協議会 個別研修(2)	5
	9	28~29	道東三地区老施協研修会	4
	10	27~28	釧根地区老人福祉施設協議会 総合研修Ⅱ	9
	11	21~22	養護老人ホーム勉強会	1
	11	21~22	介護職員専門研修Ⅱ	1
	11	22	栄養士専門研修	1
	11	31	釧根地区老人福祉施設協議会 施設長等研修会	1
	1	23	感染症予防研修会	2
	13) 職員研修 (施設内研修) 研修テーマ 『チームワークの向上と必要性』	月	日	研修名
6		27	養護課「自己覚知と自己啓発」	12
7		27	総務課「ビジネスマナー (基本編)」	12
7		31	虐待防止委員会「社会福祉施設における虐待の防止について」	16
9		26	災害対策委員会「「まさか」日頃の心構えと備えが大切」	11
10		4	外部研修報告会	17
10		26	養護課「移乗介助 (トランスファー)」	18
10		31	身体拘束廃止委員会 「身体拘束のないより良い施設を目指して」	16
11		1	外部研修報告会	12
11		15	生活相談課「信用と信頼」	17
11		18	給食課「食事と栄養」	16
11		27	事故対策委員会「介護事故について」	16
12		8	感染症対策委員会「感染症対応演習」	18
2		7	外部研修報告会	19
2		19	苦情処理委員会「苦情処理のシステムと実際の事例」	19
2		27	防犯対策委員会「防犯対策」	14
3		12	社会福祉法人 釧路愛育協会の歴史	16
3	28	医務課「救急処置対応の重要性」	21	
14) 救命救急講習	月	日	研修名	参加
	12	19	普通救命救急講習	1
	1	9	普通救命救急講習	2
	1	25	普通救命救急講習 (更新再講習)	5

15) 短期宿泊事業	在宅高齢者の短期宿泊 (1) 利用人員 延 6名 延日数 49日
16) 健康診断・衛生管理等	健康管理・衛生管理等 (1) 健康診断 ① 平成29年4月～平成29年12月 ② 平成29年7月～平成29年 8月 (2) 体重測定 ① 平成29年 7月 ② 平成29年11月 ③ 平成30年 3月 (3) 赤痢菌等検査 月 1 回 (4) ノロウイルス検査 10月～ 3月

2. 行事計画の実施状況

月	実 施 状 況 及 び 参 加 人 数			
4月	① 誕生会 26日 123名	② 映画会 6日 30名	③ クッキングレク18日 18名	
5月	① 誕生会 17日 123名	② 園内お花見 19日 30名	③ 花見 25日 20名	④ 外出レク22～26日 9名
6月	① 野外レク 22日 24名	② 映画会 8日 25名	③ 誕生会 21日 122名	④ 外出レク 26日 7名
7月	① 野外食 6日 39名	② 誕生会 19日 125名	③ 保育園交流会25日 37名	
8月	① 野外食 1日 41名	② 誕生会 16日 127名	③ 盆踊り 20日 77名	④ 物故者供養 20日 30名
9月	① 誕生会 27日 125名	② 長生園祭 20日 154名		
10月	① 茶話会 19日 66名	① 野外レク 5日 30名	③ 誕生会 18日 122名	④ 収穫祭 24日 126名
11月	① 演芸会 9日 64名	② 誕生会 15日 122名	③ クッキングレク29日 17名	④ 買い物レク 4日 20名
12月	① 茶話会 16日 49名	② 誕生会 20日 125名	③ クリスマス会 25日 66名	④ お年取り 30日 128名
1月	① 新年恒例会 1日 129名	② 誕生会 17日 125名		
2月	① かるた取り18、26、31日18名	② 誕生会 21日 123名	③ 映画会 20日 30名	④ クッキングレク28日 35名
3月	① カラオケ交流会9日 47名	② 節句会 2日 58名	③ 誕生会 15日 126名	④ 映画会 13日 40名

3. その他

1. 交流会	(1) 興津小学校児童会交流会	(2) 伊藤カラオケ教室との交流会
	(3) リバイバル教会交流会	(4) 桜幼稚園交流会
	(5) かしわ保育園交流会(2回)	(6) 白樺幼稚園交流会
	(7) 新年おもちつき・おたのしみ会かしわ保育園より招待	
	(8) 創雲流国千枝社中	

2. ボランティア	(1) 釧路美容協会カットボランティア	(2) 釧路太平洋太鼓保存会
	(3) 盆踊りでの歌 (個人)	(4) 園内喫茶店8回 (個人)
	(5) 長生園祭ボランティア (30名)	
3. 寄 贈	82件	評価額 664,017円
	物品名	バスタオル、寝具一式、カット布、書籍、衣類、紙オムツ類 杖、フェイスタオル、タオルケット、靴下、カット布、 タバコ、リハビリシューズ、シルバーコーラス入場券

平成29年度 入 所 者 入 退 園 状 況

(単位:名)

月別	前月末在籍者数	入 園 者	退 園 者	死 亡 者	当月末在籍者数
4月	143	6	1	3	145
5月	145	1	0	2	144
6月	144	3	1	1	146
7月	145	2	0	2	145
8月	145	3	1	1	146
9月	146	0	2	1	144
10月	144	2	1	2	143
11月	143	5	1	0	147
12月	147	2	1	0	148
1月	148	0	0	1	147
2月	147	1	2	1	145
3月	145	4	0	3	146
合 計	1,743	29	10	17	1,745

長生園訪問介護事業所

年々重度化する長生園特定施設における訪問介護サービスの提供であるが、利用者の心身の状況や特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心がけながら実践するよう努めた。中でも重点項目の(1)に掲げた「チームアプローチの強化」については、利用者の状況を口頭や連絡帳に記載し報告するだけでなく、計画作成担当者や介護職員と一緒に利用者への接遇方法を考え実践し、事業所間の情報の共有が図れるよう努めた。(2)の重点項目である「訪問介護員の意識や技術を成長させることを目的とした研修の参加・実施」については、定期的にヘルパー研修を実施し訪問介護員の資質向上を図った。また、外部研修への参加などで訪問介護員の資質向上を図った。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) チームアプローチの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者が訪問介護員と介護職員の間に入り、情報の共有をし、利用者へのサービスが円滑に行えるように努めた。 ・情報の共有が必要と思われる利用者の状況を、毎日ヘルパー連絡帳に記載し報告した。 ・生活相談支援センターとの連携で、身体介護以外の準備・片付け業務を担う助手の導入により、利用者へのサービスを円滑に行うことができた。
2) 訪問介護員のスキルアップを目的とした研修の参加・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にヘルパー研修を行い、高齢者虐待や、不適切なケア、認知症への理解などの研修を実施した。 ・園内研修で外部からの講師より、キネステティクスの介助技術を学んだ。 ・ヘルパーが自身の目標を考え、その目標を意識しながら業務にあたった。

2. 研修の実施状況

研修内容	実施日	参加人数
①不適切ケア防止にむけて	平成 29 年 4 月 26 日	11 名
②ヘルパーとしての心がまえ	平成 29 年 4 月 26 日	11 名
③リスクマネジメントの基本的理解	平成 29 年 7 月 31 日	12 名
④感染症の基礎知識	平成 29 年 12 月 19 日	12 名
⑤今年度の振り返り	平成 30 年 3 月 30 日	13 名

デイサービス武佐いこい

平成29年度は、昨年度より地域密着型サービスへの移行となり、今年度より介護予防事業も従来の指定居宅サービスから釧路市が、管轄する介護予防・日常生活支援総合事業に移行となった。そのことにより、当事業所の管轄機関が、介護事業・介護予防事業共に釧路市となり、介護予防・日常生活支援総合事業に限っては、釧路市だけではなく、釧路町からも申請依頼が有り、申請した。それに伴い運営規程等に記載されている実施地域を従来の阿寒、音別を除く釧路市全域に加え釧路町の一部地域と変更している。

事業運営は、前年度に引き続き地域の在宅利用者の増員を目的とした居宅介護支援事業者への宣伝活動により在宅利用者が、各曜日の定員の半数近くの増員ができた。

昨年度に引き続き、地域密着型事業の基準で定められている地域住民の代表や関係機関職員等で構成された運営推進会議の概ね年2回以上の実施について、利用者家族・地域包括支援センター職員・町内会役員のご協力もあり、年2回開催し、上半期と下半期に分けて武佐いこいの運営状況を周知して頂いてきおり、引き続き事業所透明化図っていき地域に開けた事業所運営に努めたい。

武佐いこいと地域とのより密接な関係づくりを目的とした地域貢献活動は前年度と同様に地域の商店との共同企画でお祭りを開催した。

地域公益事業についてはデイサービスフロア地域一般開放で、2組の地域のサークル活動の方々が毎週利用して頂き、地域に定着することが出来た。また、奇数月の第3土曜日には、武佐いこい主催で地域交流カフェ「いこい会館」を開催した。この活動には地域包括支援センターや社会福祉協議会、町内会並びに地域のサークルの皆さまの御協力もあり昨年度だけで、地域に周知されるようになった。今後も宣伝活動を行い広めていきたい。新年度も引き続き地域公益事業を通じて地域との密接な関係づくりに努めていきたい。

サービスについては、利用者主体のサービスを念頭に少人数制を活かし、利用者個々利用者へ寄り添う生活機能の低下防止に重点を置いたサービス提供により、利用者個々に役割、自信、意欲、楽しみの回復に努めた。

職員教育については、前年度に引き続き職員の入れ替えが続いき、外部研修には参加することが出来なかったが、職場内で会議や個人面談等を通じて新人教育や専門職としての資質向上及び地域の多様なニーズに柔軟に対応できるようチームケアの確立に努めた。

地域とのより密接な関係づくりについては、地域公益事業の他、社会福祉協議会の「ご近所ボランティア」を毎週火曜日に計3名のボランティアを受け入れている。昨年度よりボランティアの人数が減少したことに加え他の曜日にもボランティアの受け入れをしたいと思います、ボランティアセンターに武佐いこいよりボランティア募集のチラシの配布、掲示を依頼した。

また、今年度は、開催していないが、次年度も引き続き長生園グループとして武佐いこいの経営状態改善のプロジェクトチームをによる、会議を随時開催し経営課題の分析報告書を基に武佐いこい及び長生園グループ全体の経営安定に向けて取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者の個々のニーズに沿った(介護予防)通所介護計画の実施	居宅介護支援員と連携し、その人らしい、その人が望んでいる生活に少しでも近づけるよう通所介護計画の作成に努めた。

2) 小規模事業所ならではの特色を生かし、個々の利用者に寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスの提供	利用者個々に寄り添い、ニーズを基に個々に日常生活内で、役割り・自信・意欲・楽しみの回復を図り、利用者のQOLの向上に繋げるサービス提供に努めた。
3) 専門職としての資質向上を目的とした職員研修の定期実施及び積極的な外部研修への参加	利用者及び家族様とのより良い関係づくりと安心安全で良質なサービス提供へ繋げるために、接遇、知識、介護技術等の職員研修の定期開催を予定通りに開催できなかった。
4) 地域とのより密接な関係づくりを目的とした地域公益事業の充実化	昨年度に引き続き、デイサービスフロア地域一般開放に加えて武佐いこい主催の地域交流カフェ「いこい会館」を通じて関係機関等の協力を得ながら地域福祉の推進をカフェ活動の継続により地域のコミュニティとしてより地域に周知して頂けるよう努めた。
5) 武佐いこいの経営状態の安定を目的とした長生園グループプロジェクト会議の実施・継続	今年度は、プロジェクト会議を開催には至らなかったが、随時長生園グループ内での調整に努めた。

2. 行事計画の実施状況

月	実 施 状 況	
4月	28日 舞踊交流会	13名
5月	2日 節句会 22日～26日 個別お花見ドライブ週間(市内公園)	15名 計12名
6月	20日 園芸レク(プランター作成)	11名
7月	26日 夏のバーベキュー	10名
8月	18日 納涼会(流しそうめん) 23日 音楽運動レク～ 協力:音楽健康指導士 金児氏	13名 10名
9月	12日～シルバー作品展 15日 敬老炉端	14名
10月	3日 開所記念を祝う会 25日 白樺幼稚園交流会 25日 第1回運営推進会議	13名 11名
11月		
12月	25日 クリスマス会	13名
1月		
2月	5日 節分	13名
3月	5日 節句会 23日 第2回運営推進会議	12名

3. 平成29年度月別利用延数・一日平均利用人員及び稼働率

月別	利用延人数	一日平均利用人員	稼働率
4月	245名	12, 2名	81, 3%
5月	248名	12, 4名	82, 6%
6月	252名	11, 4名	76%
7月	229名	11, 4名	76%
8月	238名	11, 9名	79, 3%
9月	247名	12, 3名	82%
10月	262名	12, 4名	82, 6%
11月	248名	12, 4名	82, 6%
12月	259名	12, 3名	82%
1月	218名	10, 3名	68, 6%
2月	219名	11, 5名	76, 6%
3月	259名	12, 3名	82%
合計	2924名	年平均11, 0名	79, 3%

4. 平成29年度地域公益事業実績

① デイサービスフロア地域一般開放

月別	利用者	利用回数	延べ人数
4月	ダンスサークル様	1回	10名
	ふまねっと946様	3回	42名
5月	ダンスサークル様	1回	8名
	ふまねっと946様	2回	28名
6月	ダンスサークル様	1回	12名
	ふまねっと946様	2回	28名
7月	ふまねっと946様	3回	36名
8月	ダンスサークル様	1回	7名
	ふまねっと946様	2回	28名
9月	ふまねっと946様	2回	24名
10月	ダンスサークル様	1回	10名
	ふまねっと946様	3回	46名
11月	ダンスサークル様	1回	11名
	ふまねっと946様	2回	27名
12月	老人クラブダンスサークル様	1回	11名
	ふまねっと946様	3回	40名
1月	ふまねっと946様	3回	40名
2月	ふまねっと946様	3回	39名
3月	ダンスサークル様	1回	10名
	ふまねっと946様	2回	24名

② いこい会館

月	内 容	参加人数
5月	体力測定	11名
7月	「第3回音楽で楽しく健康体操」 協力：東北海道第一興商 音楽健康指導士 金児氏	13名
9月	「ヘッドマッサージで心も身体も健康に」 講師：HEARART SHOP HIPPIE オーナー 一戸 祐介	13名
11月	「脳トレーニング」 「レクリエーション」	11名
1月	「第4回音楽で楽しく健康体操」 協力：東北海道第一興商 音楽健康指導士 金児氏	10名
3月	「ボールゲームレクリエーション」 ・ゲートボールカーリング ・テーブル卓球	18名

5. その他

町内会行事	7月 「子供祭り、焼肉パーティー」	管理者参加
地域貢献	9月 「おたっぴー夏マルシェ&いこい祭り」	近隣商店との共同企画

ひかり自立支援センター・ケアホームひかり

29年度は昨年に引き続き明るく笑顔のたえない施設づくり、利用者の方々の安心、安全に配慮した質の高いサービスを提供し、風通しの良い施設づくりを目指して働き甲斐を感じられる職場づくりに取り組みながら職員の資質向上を図り、地域とのかかわり、ボランティア、実習生等の受入れを積極的に行った。また隔月での保護者会開催、並びに開設当初より継続している「ひかりの里だより」発行によりセンター、ケアホームの情報を発信し、保護者をはじめ地域の方々から信頼を得られるよう取り組んできた。

生活介護「あい工房」では生産活動の一環としてカイワレ栽培等の作業を実施し、道東知的障がい福祉協会釧路、根室地区部会主催の「ボウリング大会」「シーツバレー大会」への参加をはじめ、釧路市主催の「ふれあい広場」、釧路芸術館招待の「クリスマスコンサート」への参加、外出支援としてプール、外食、カラオケと地域資源の活用による余暇活動の充実を図った。

就労継続支援B型「みのり工房」では、施設外就労として行っている釧路町特別養護老人ホーム「鉦望やすらぎの郷」、当協会「長生園」の清掃作業を継続して行い、椎茸、野菜の生産、クッキーどら焼きの菓子製造販売、また釧路市から委託を受けた「配食サービス」を引き続き行い、おいしい食事の提供と老人の「安否確認」を実践した。

共同生活援助「ケアホームひかり」では、利用者の生活の場として健康管理をはじめそれぞれの障がい

に合わせた衣類着脱、排せつ、入浴、食事等の生活支援、余暇活動として帯広方面への宿泊旅行、地域資源を活用してのカラオケ、外食、買い物等、またホーム内の行事として「クリスマス会」「節分豆まき」等を実施した。

共同生活援助「ケアホームはばたき」では、地域の中で楽しく豊かに暮らせるよう、昨年度に引き続き町内会主催のいきいきサロン、山神かがり火祭り等への参加、釧路市主催のどんぱく、巖島神社祭、霧フェス見学、札幌宿泊旅行等の実施、ホーム内でも誕生会、忘新年会、ひなまつり等の行事を実施し余暇の充実を図った。

今後の課題としてセンター、ホームを利用している方々の高齢化、重度化に対応できるような支援を心掛け、本人はもとより、保護者、また現在通所している22名の方が居住しているすみれホームとの連携をはかり情報を共有しながら、利用者にかかわるすべての人が協力し合い皆さんが豊かな生活を実感し充実した人生が送れるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

1) 職員が仕事の喜びや生きがい、働きがいを感じられる職場づくりと利用者が生まれてきてよかったと思える施設づくり	
業 務 計 画	実 施 状 況
①情報共有に基づく協力体制づくりと仕事の負担軽減策	あい工房とケアホームひかり、みのり工房とすみれホーム、ケアホームはばたきについて日中支援、夜間支援それぞれの事業所が1人の利用者に対して、連絡調整を密にしながら情報交換し、皆が豊かな生活を実感し、安心して過すことができるように取り組んだ。
②志気ならびに資質向上のための研修の実施	<p>職員の資質向上、意識改革をはかる各種研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度釧路市障がい者自立支援協議会雇用就労部会 (釧路) 6月1名 ・平成29年度北海道サービス管理責任者研修 (釧路) 6月4名 ・平成29年度強度行動障害支援者養成研修(基礎) (帯広) 7月1名 ・平成29年度釧路市障がい者自立支援協議会雇用就労部会 (釧路) 9月1名 ・平成29年度社会福祉会計担当者研修 (帯広) 7月2名 ・平成29年度製品制作、技術研修 (札幌) 10月2名 ・平成29年度エルダー・メンター制度研修 (釧路) 11月3名 ・平成29年度道東知的障がい福祉協会職員研修会 (紋別) 11月1名 ・平成29年度釧路市虐待防止センター研修会 (釧路) 12月8名 ・平成29年度感染症予防研修 (釧路) 1月2名 ・平成29年度北海道食品製造・表示セミナー (釧路) 2月2名

<p>③情報公開・開かれた施設づくり</p>	<p>①隔月で「ひかりの里だより」の発行、保護者会を開催し利用者の状況、センター、ホームでの様子を情報提供し、開かれた施設づくりを目指した。</p> <p>②地域貢献を視野に入れた安否確認を含む「配食サービス」、衛生的な作業環境での食品製造及び良質な製品の生産、新たに日専連釧路の定期的な出店を加えた販売の促進及び清掃等施設外就労の外部委託作業の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種販売イベントへの参加 21回 <p>③地域の一員として地域活動へ積極的に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動や地域行事に積極的に参加 町内会いきいきサロン、山神かがり火祭り、町内会一斉清掃に参加（はばたき）
<p>④安心できる環境づくり</p>	<p>利用者の方々、一人ひとりが安心して生活できる様、職員全員が北海道知的障がい福祉協会が提唱する「人権侵害ゼロへの誓い」に署名し、皆さんの自由と尊厳を守り自立した生活を支援するため、努力し、一丸となって取り組んでいる。</p>
<p>⑤健康で文化的なうるおいのある豊かな生活の場づくり</p>	<p>余暇活動、社会参加の一環として外出活動を増やし買い物支援、外食支援等の充実を図るとともにレクリエーションを充実し、生活意欲、就労意欲の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出（外食、カラオケ、プール、コンサート） 39回 ・公共施設の見学 4回 ・季節に合わせた行事の企画、実施 ひかりの里祭り、花火大会、焼肉パーティー 等 6回 ・音楽、スポーツイベント、行事、町内会活動への参加 ボウリング大会、クリスマスコンサート等 13回 ・旅行の実施 2回
<p>⑥人材確保策の実施</p>	<p>欠員が生じてもすぐ補充可能なようにハローワーク、短大、専門学校との連絡を密にし、人材確保に心掛けた。ただ、現状としては応募者が少なく苦慮している。</p>
<p>2) 整備拡張と環境整備</p>	
<p>業 務 計 画</p>	<p>実 施 状 況</p>
<p>①支援センター建物整備・拡張の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あい工房訓練室、みのり工房利用者休憩室、事務室等拡張を検討したが確認申請等の手続きが必要とのことで再検討の運びとなった。
<p>②敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暴風雨被害に伴い、墓に隣接する樹木の伐採、整備。 ・センター前職員駐車場小型ローラーによる整地。

2. 行事計画の実施状況

月	全 体	あ い 工 房	み の り 工 房	ケアホームひかり	ケアホームはばたき
4	保護者会 4/25 利用者懇談会 4/25	レク(カラオケ)4/27 散策、ドライブ等	レク(芸術館)4/20	レク(カラオケ)4/11 外食支援 4/4,17,19	誕生会 4/27
5	利用者懇談会 5/25 前期健康診断 5/30,31, 6/1	外出(外食) 5/3 レク(クッキング) 5/5 散策、ドライブ等	レク(美術館)5/3 ぴゅあめーどまーけつ と出店(ジャスコ) 5/11,12	外食支援 5/9,14,17、 25 レク(カラオケ)5/29	山内恵介コンサート 5/20
6	焼肉パーティー 6/21 利用者懇談会 6/26 保護者会 6/27	焼肉パーティー6/21 ふれあい広場 6/25 散策、ドライブ等	TOYOTAドリー ムフェア出店 6/3,4 焼肉パーティー6/21 ふれあい広場出店6/25	外食支援 6/9,22,28 レク(カラオケ)6/19 ふれあい広場 6/25 ノロッコ号乗車 6/30	ふれあい広場6/24,25
7	利用者懇談会 7/25	ぴゅあめーどまーけつ と8周年販売 7/1 散策、ドライブ等 外出(プール)7/19	くしろ益浦夏祭り出店 7/15 鉤望やすらぎの郷 夏祭り出店 7/22	レク(カラオケ)7/10 外 食支援 7/20,21	山神かがり火祭7/3 厳 島神社祭 7/9 焼肉パーティー7/27 霧フェス 7/28,29
8	鉤路短期大学 トーンチャイ ム演奏会 8/3 保護者会 8/22 花火大会 8/24 利用者懇談会 8/25	養護学校ひまわりの集 い販売 8/9 花火大会 8/24 レク(クッキング)8/28 散策、ドライブ等	ワークキャンプ 8/4 レク(芸術館)8/20	外食支援 8/8,10,18 レク(カラオケ)8/23	花火大会 8/17
9	開所記念日 9/1 ひかりの里祭 り 9/6 利用者懇談会 9/25	鉤根地区交流ボウリ ング大会 9/4 外出(プール)9/19,23 外出(鶴が丘学園祭)9/24 散策ドライブ等	コア大空まつり出店 9/10 ぴゅあめーどまーけつと出店 9/10,11 長生園祭出店 9/18 鶴が丘学園祭出店 9/24 興津小バザー出店9/24 収穫祭 9/27	花火大会観賞 9/2 鉤根地区交流ボウリ ング大会 9/4 焼肉パーティー 9/12 鶴が丘学園祭 9/24	鉤根地区交流ボウリ ング大会 9/4 どんぱく祭り 9/8 同窓会コンサート 9/27
10	保護者会 10/24 利用者懇談会 10/25	鉤根地区シーツバレ ー大会 10/6 散策、ドライブ等	チラシピースフェス ティバル出店 10/1 カトリック教会出店 10/1 わたすげ共栄販売 10/15	外食支 10/13,17,19 レク(カラオケ)10/30	札幌宿泊旅行 10/4~6
11	後期健康診断 インフルエンザ 11/14,15,16 利用者懇談会 11/27	収穫祭 11/8 レク(クッキング) 11/18	レク(調理)11/25	十勝宿泊旅行 11/1,2 レク(カラオケ)11/20 外食支援 11/17,28	カラオケパーティ 11/5

12	保護者会 12/5 釧路短期大学 トーンチャイ ム演奏会12/21 利用者懇談会 12/25 餅つき 12/27	クリスマス会 12/21 クリスマスコンサ ート 12/23	日赤病院出店 12/5	クリスマス会 12/20 クリスマスコンサ ート 12/23	忘年会 12/14 誕生会 12/15 クリスマス会 12/24
1	初詣 1/1 利用者懇談会 1/25	初詣 1/1 外出(外食) 1/2 外出(カラオケ) 1/3	初詣 1/1 日専連販売 1/14, 28, 31	レク(カラオケ)1/5 外食支援 1/11,16,31	初詣 1/1 新年会 1/11
2	節分 2/3 保護者会 2/27 利用者懇談会 2/26	節分 2/3	日専連販売 2/27	節分 2/1 外食支援 2/6,22 レク(カラオケ)2/26	釧路冬まつり 2/4 町内会いきいきサロ ン 2/18
3	バイキング 3/7 利用者懇談会 3/26	ひなまつり 3/3	釧路管内障がい者施 設作品展即売会 3/4 レク(遊学館)3/28	ひなまつり 3/1 慰労会 3/21	ひなまつり 3/5 慰労会 3/22
備考	誕生会、身体測定、利用者懇談会 避難訓練は毎月実施				

3. その他

1. 交 流	セイコーマート (クリスマス交流) 釧路短期大学 (トーンチャイム演奏) 釧路市社協ワークキャンプ
2. 招 待	道立釧路芸術館
3. 寄 贈	3件 評価額 51,600 円 物品名: 菓子・果物・ジュース・ケーキ 他
4. 寄 付 金	2件 50,000 円

平成29年度 利用者の状況

(名)

月 別	生活介護 あい工房	就労継続支援B型み のり工房	共同生活援助 ケアホームひかり	共同生活援助 ケアホームはばたき	計
4	11	22	10	5	48
5	11	22	10	5	48
6	11	22	10	5	48

7	11	22	10	5	48
8	11	22	10	5	48
9	11	22	10	5	48
10	11	22	10	5	48
11	11	22	10	5	48
12	11	22	10	5	48
1	11	22	10	5	48
2	11	22	10	5	48
3	11	22	10	5	48
計	132	264	120	60	576

鶴が丘学園事業報告

平成 30 年度に向けた厚労省検討チームによる障がい者福祉サービス報酬改訂の論議では、基本的な考え方として、障がい者の重度化や高齢化によるサービス利用のニーズが多様化する中、障がい者が地域生活を開始・継続するための充実を図っていくこと。さらに「親亡き後」を見据え地域が抱える課題に向き合い、地域で障がい者やその家族が安心して生活するために地域生活拠点等の整備を促進しその機能の充実・強化を進めるとともに、重度の利用者支援を可能とするグループホーム整備等の強化を図る方向性が示された。

今年度、鶴が丘学園では人権の尊重と利用者一人ひとりの意思決定、特性、課題に配慮した、個別的な支援を中心とした取組みの充実に努めてきた。生活支援においては、他害のある利用者によるケガ等の事故が多発したため、強度行動障がいの基礎・実践研修で習得した個別的な「特性シート」や「構造化シート」を活用し、学園独自の取組み方法を設定するとともに嘱託医の協力により、徐々に不応行動改善の効果がみえてくるようになってきている。また、利用者の高齢化の対応では 60 歳以上の利用者が 27 名を超え、潤いのある行き届いた支援を提供できるように、施設内研修で「食事摂取の基本」や「体位変換と移動・移乗等」の介護技術の実践研修を受け、適切な対応について習得することができた。

日中支援(生活介護)では、生産性の向上をめざしさくら工房で生チョコやソフトクリーム等の新製品の開発や、どんぐり工房、ぼぷら工房、かつら工房、みのきよ工房では高齢化や障がいの特性に対応した利用者個々のニーズに応じた余暇活動や創作活動、手工芸品、農耕及び廃品回収等の活動を取り入れ、実践してきた。

余暇活動では利用者が最も意欲的である宿泊旅行の希望先を募り、旅行目的に沿って具体的なコースを選定し、札幌方面の宿泊旅行では大相撲準本場所の観戦を楽しむことができた。文化的活動では、潤いのある豊かな生活の場づくりとしてピアノ演奏会とティーパーティー等を定期的実施し、充実した穏やかなひとときを過ごすことができた。

医療面では看護師による生活習慣病等の予防をはじめ、嘱託医や医療機関との情報共有や協力医主導による口腔ケア等、健康管理面で充実した取組みを継続することができた。

栄養面では栄養士による専門的な視点による栄養指導や「喜び」「楽しみ」に繋がるように「バイキング食」や「生寿司選択食等」を実施することができた。

施設生活では安全・安心が定着できるように、全職員による事故対策、虐待防止及び苦情解決等の危機管理意識の向上と迅速な対応の徹底を図るため、各委員会組織による活動を進めてきた。しかし、感染症対策では初期対応の不徹底により11月末から12月中旬に多数の利用者、職員がノロウイルスに感染し、改めて日常の感染症対策の大切さを思い知り、全職員で適切な対応について研修を行った。また、兼ねてより家族会からの要望であった「安心・安全（防犯）カメラ」を園内(13カ所)に設置し、利用者の安全・安心の確保に繋げることができた。

当園においても職員の確保と人材育成は急務であり、園内外の研修受講の充実並びに法人事務局と連携した新任・幹部職員研修を実施し、職員の資質向上と人材の定着に努めている。今後も、地域ニーズに対応した短期入所事業の推進や福祉避難場所としての施設開放等、地域生活支援拠点の役割を兼ね備えた施設づくりをめざすことで、各関係機関と連携を図り、専門的支援と多様な福祉サービスの提供に努めるなど、地域福祉の核として中心的役割を担うことが施設入所支援に求められる役割と考えている。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者の立場に沿った支援を提供するとともに、安全、安心がはかれるよう危機管理意識を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策（ヒヤリハット含む）のマニュアルの整備及び記入様式の見直しを行った ・感染症（ノロウイルス発生時）の対応及び対策の検討 ・安心・安全（防犯）カメラの設置による事故防止活用
2) 個別支援計画の充実と、張りのある生活をめざした支援や余暇活動を実施するため、「自己決定」「自己選択」ができる機会を多くしていく	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障がい特性や個性に合わせた個別支援計画の実施 〔目標達成ケース数〕 <li style="padding-left: 20px;">ひだまり 8 ケース <li style="padding-left: 20px;">こもれび 11 ケース <li style="padding-left: 20px;">せせらぎ 17 ケース
3) 生活の質の向上をめざし、環境美化や環境整備の見直しを行い、健康で文化的なうらおいのある豊かな生活の場づくりをしていく	<ul style="list-style-type: none"> ・園内、居室等の環境美化、環境整備を実施 〔環境整備等〕 ① 居室壁張替工事（8室） ② 居室ネームプレート取付工事 ③ エアコン取付工事（夜勤室・洗濯室・医務室・調理・洗濯休憩室） ④ 学園正門入口舗装補修工事 ⑤ 前庭雨水枘切り下げ工事 ⑥ 園周り散歩道舗装補修工事 ⑦ 作業棟通路排水溝取付工事 ⑧ さくら・ぼぷら・みのきよ工房屋根塗装工事 ⑨ 愛香工房・手芸室屋根張替工事 ⑩ みのきよ工房入口スロープ設置ゴムチップ張り工事 ⑪ ポンプ室引込支柱線取付工事 ⑫ 汚水処理施設原水ポンプ取替工事 ⑬ ゴミ倉庫センサーライト取付工事

	<p>⑭ 道路立看板等設置 (6ヶ所)</p> <p>⑮ 食堂防虫網戸取替・食堂シンク配管・混合栓取替工事</p> <p>⑯ 玄関ホール・廊下壁クロス張替工事</p> <p>⑰ 廊下ロンリウム継ぎ目溶接工事 等</p>																																																												
4) 日中支援のさらなる充実を進めるため、生産性の向上と利用者個々のニーズに対応した支援を構築していく	<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動に従事する利用者に対しての作業種の充実とともに、高齢者や作業になじめない利用者の日中活動内容の充実を図った ・作業棟の設備の充実や補修工事等を行い、日中支援（生活介護）の環境整備を行った ・さくら工房にソフトクリームマシン1台（リース）導入 																																																												
5) 利用者の高齢化に対応するため、支援内容や介護技術等について強化していく	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の年齢構成では、50歳以上が49名、60歳以上27名と高齢化が進む中、高齢者介護等について園内研修を実施 ・6月20日 高齢者介護グループワーク・口腔ケアと完全側臥位での食事摂取について実技研修 ・2月20日 体位変換・移動・移乗等のケア(外部講師による実技研修) ・日中活動で散歩を取り入れ、高齢利用者の体力維持を図った ・栄養士や看護師による専門的な視点による個別的な栄養指導、生活習慣改善等健康予防や協力医（歯科）による口腔ケアに継続して取り組み効果を上げることができた 																																																												
6) 職員研修計画を策定し、職員の資質向上と人材の育成と定着に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人材育成と確保は急務であるため、年間の職員研修計画に基づき、キャリアアップや各種資格取得等について積極的に進めた ・施設内研修 実施回数10回 参加人員 延203名 ・施設外研修 実施回数49回 参加人員 延88名 <p>[主な研修内容]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>研修名</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>16～17</td> <td>福祉専門職のキャリアアップ研修(初任者)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>24～25</td> <td>全道施設長研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4</td> <td>自閉症の理解を深める公開講座</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6～8</td> <td>北海道サービス管理責任者研修</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>29～30</td> <td>北海道強度行動障がい支援者実践養成研修</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3～4</td> <td>相談支援従事者(サービス管理責任者研修)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4～5</td> <td>福祉専門職のキャリアアップ研修(リター)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>13～14</td> <td>道研修所新任職員研修</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>18～20</td> <td>障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>22～23</td> <td>北海道強度行動障がい支援者基礎養成研修</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7</td> <td>中堅職員スキルアップ講座</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>8～9</td> <td>メンタルヘルス研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>30～31</td> <td>福祉専門職のキャリアアップ研修(中堅)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7</td> <td>特定給食施設等管理者研修会</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	研修名	参加	5	16～17	福祉専門職のキャリアアップ研修(初任者)	1	5	24～25	全道施設長研修	1	6	4	自閉症の理解を深める公開講座	1	6	6～8	北海道サービス管理責任者研修	2	6	29～30	北海道強度行動障がい支援者実践養成研修	2	7	3～4	相談支援従事者(サービス管理責任者研修)	1	7	4～5	福祉専門職のキャリアアップ研修(リター)	1	7	13～14	道研修所新任職員研修	2	7	18～20	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	1	7	22～23	北海道強度行動障がい支援者基礎養成研修	3	8	7	中堅職員スキルアップ講座	1	8	8～9	メンタルヘルス研修	1	8	30～31	福祉専門職のキャリアアップ研修(中堅)	1	9	7	特定給食施設等管理者研修会	1
月	日	研修名	参加																																																										
5	16～17	福祉専門職のキャリアアップ研修(初任者)	1																																																										
5	24～25	全道施設長研修	1																																																										
6	4	自閉症の理解を深める公開講座	1																																																										
6	6～8	北海道サービス管理責任者研修	2																																																										
6	29～30	北海道強度行動障がい支援者実践養成研修	2																																																										
7	3～4	相談支援従事者(サービス管理責任者研修)	1																																																										
7	4～5	福祉専門職のキャリアアップ研修(リター)	1																																																										
7	13～14	道研修所新任職員研修	2																																																										
7	18～20	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	1																																																										
7	22～23	北海道強度行動障がい支援者基礎養成研修	3																																																										
8	7	中堅職員スキルアップ講座	1																																																										
8	8～9	メンタルヘルス研修	1																																																										
8	30～31	福祉専門職のキャリアアップ研修(中堅)	1																																																										
9	7	特定給食施設等管理者研修会	1																																																										

	9	20~21	道研修所介護職員専門研修 I	1
	9	20~21	全道知的障がい福祉協会施設職員研究大会	1
	9	25~26	道東知的障がい福祉協会新任職員研修会	2
	10	2~3	全道支援研究委員会特別研修会	1
	10	5~6	北海道強度行動障がい支援者実践養成研修	2
	10	14~15	北海道強度行動障がい支援者基礎養成研修	3
	11	8	苦情解決システム研修会	1
	11	14~15	福祉専門職のキャリアアップ研修(管理職)	1
	11	15~16	道東知的障がい福祉協会施設職員研修会	3
	11	29	エルダー・メンター制度導入支援研修	2
	12	5	法人幹部職員研修	2
	1	16・23	法人新任職員研修	13
	1	29	法人幹部職員研修	3
	1	31	道知的障がい福祉協会歴史講座「北歩塾」	1
	2	13~14	北海道強度行動障がい支援者基礎養成研修	8
	3	2	釧路振興局「地域共生社会の実現に向けて」	1
7) 開かれた施設づくりをめざし、地域コミュニティ・関係機関等との交流や活動等を積極的に進め連携強化をはかっている	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による情報発信の継続を実施 ・行政を含む関係機関や障がい者施設関係団体との協働や交流を積極的に進めた ・実習生の受入・交流 25名 ・施設見学及び視察 68名 			
8) 利用者並びに家族懇談会を定期的に開催し、利用者・家族が安心して過ごせるように情報の共有化をはかっている	<p>健康管理面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科往診； 月 5~6 回不定期（訪問歯科） ・皮膚科往診； 6 回 <p>健康診断等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定； 年 2 回・適宜 ・内科聴打診 ・胸部レントゲン検査 ・肺、胃、大腸がん検診； 年 2 回 ・子宮、乳がん検診； 年 2 回 ・インフルエンザ予防接種； 年 1 回 ・血液、尿検査（精神神経科投薬者）； 年6回 			
9) 短期入所事業の実施	短期入所事業利用実績； 実人員 14 名 延 252 日			
10) 各種検査等の実施	井戸水水質検査； 9 項目(毎月) 25 項目(年 4 回) 50 項目 (年 1 回) 腸管系法定伝染病検査； 栄養士、調理員、菓子製造利用者・職員(毎月) (O-157・ノロウイルス高感度検査実施)			
11) ストレスチェック制度の義務化に伴う対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の改善と職員のメンタルヘルスケアでは、産業医等の選定や方法について検討していく 			

2. 行事計画の実施状況

月	行 事	月	行 事
4	利用者懇談会 (13日) 家族懇談会 (16日) 誕生会 (18日)	10	釧根地区ミニバレー・ソフトバレー大会 (6日) 利用者懇談会 (10日) 家族懇談会 (15日) 誕生会 (17日) 道東地区施設交流ミニバレー大会 (20日)
5	誕生会 (16日) 春の大掃除 (17日) 花見 (19日) 利用者懇談会 (23日) チューリップフェア出店 (27~28日)	11	第46周年開園記念日 (1日) 宿泊旅行 (6~8日) お楽しみ食 (7日) 誕生会 (14日) ピアノ演奏とティーパーティー (26日) 利用者懇談会 (28日)
6	日帰旅行リフレ温泉 (9日) 利用者懇談会 (13日) 日帰旅行グリーンパーク (14日) 家族懇談会 (18日) 誕生会 (20日) 道東みどり会 (24~25日) ふれあい広場 (25~26日) 釧根地区パークゴルフ大会 (28日) お楽しみ食 (29日)	12	誕生会 (5日) クリスマス会 (22日) 年末大掃除 (26日) 利用者懇談会 (29日)
7	びゅあめいどマーケット出店 (1日) 巖島神社例大祭出店 (8~9日) 日帰旅行リフレ温泉 (13日) 利用者懇談会・誕生会 (18日) 第10回スポーツレクリエーション大会 (23日) 霧フェスティバル出店 (29~30日)	1	新年会 (9日) 誕生会 (16日) 利用者懇談会 (23日)
8	くしろ港まつり出店 (4~6日) 花火大会・利用者懇談会 (9日) 家族懇談会 (11日) 夏期一時帰省 (11~20日) 宿泊旅行大相撲巡業観戦 (17~18日) 誕生会 (22日) 道東地区施設交流アジャタ大会 (23日) 消防署合同避難訓練 (26日) 宿泊旅行十勝川温泉 (29~30日)	2	くしろ冬まつり (3~4日) サポートネットイオンモール販売 (11~12日) 利用者懇談会 (16日) 家族懇談会 (18日)
9	ピアノ演奏とティーパーティー (2日) お楽しみ食 (5日) 利用者懇談会 (16日) 長生園出店 (18日) 秋の大掃除・誕生会 (19日) 定光寺まつり出店 (20・23・26日) 第46回学園祭 (24日) 釧根地区ボウリング大会 (26日)	3	さくら・かつら工房慰労会 (阿寒湖温泉1泊旅行) (8~9日) サポートネットイオンモール販売 (3~4日) 第2回釧路管内施設展示即売会 日中支援慰労会阿寒湖一泊旅行 (8~9日) 利用者懇談会 (20日) お楽しみ食 (27日) 誕生会 (20日)

※ その他の行事等～・避難訓練（毎月） ・建物設備安全管理点検（毎月）

3. 防犯対策強化に係る事業等

事業名； 鶴が丘学園 安全・安心（防犯）カメラ設置工事
 工 事； 開始日 平成29年10月1日 完了日 平成29年12月25日
 内 容； 園内に防犯カメラ 13 台設置 43 インチ液晶ビデオモニター及び記録用デッキを見守室に設置
 経 費； 事業活動による収入（自己資金） 2,600,000 円
 施設整備費寄附金収入（鶴が丘学園家族会） 2,000,000 円
 総経費 4,600,000 円

4. その他

・ボランティア； (1) 鶴が丘学園ボランティア（家族会有志） (2) お話キャラバン公演（日産自動車労働組合人形劇団） (3) 釧路市ふれあい広場ボランティア
 (4) 学園祭ボランティア
 ・寄 贈； 35 件 評価額 419,422 円
 ・物品名； 飴切りプレート 1 台、ティッシュペーパー、お菓子、ジュース類等

平成29年度 入所者の状況

入所者の状況

(名)

月 別	前月末在籍者数	入所者数	退所者数	当月末在籍者数
4 月	87	1	0	88
5	88	0	0	88
6	88	0	0	88
7	88	0	0	88
8	88	0	0	88
9	88	0	1	87
10	87	2	0	89
11	89	0	0	89
12	89	0	0	89
1	89	0	0	89
2	89	0	0	89
3	89	0	0	89
合 計		3	1	

平成 29 年度 通所者の状況

通所者の状況

(名)

月 別	前月末在籍者数	入所者数	退所者数	当月末在籍者数
4 月	5	0	0	5
5	5	0	0	5
6	5	0	0	5
7	5	0	0	5
8	5	0	0	5
9	5	0	0	5
10	5	0	0	5
11	5	0	0	5
12	5	0	0	5
1	5	0	0	5
2	5	0	0	5
3	5	0	0	5
合 計		0	0	

すみれホーム事業報告

年度当初職員の補充等で落ち着いた時期もあったが、利用者の意思決定及び人格を尊重し、丁寧かつ適切な対応を心掛けて支援に取り組んできた。利用者の高齢化に伴い仕事での転倒による骨折が2件程あり、転倒防止のための歩き方訓練を行うとともに、個々の体力などを考慮し手軽に出来る運動としてラジオ体操、徒歩での通勤、買い物などを積極的に行い、安定歩行の訓練とともに体重維持にも取り組んできた。また、日中の就労支援サービスや生活介護サービスの利用日数を体調に合わせて調整することで無理をすることなく快適で楽しみのある生活を支援することができた。

さらに健康面では、幻聴や、被害妄想、他害などの精神的兆候のある利用者には主治医（精神神経科）の診察を勧め、早期に治療を開始することで本人への負担を減らすよう支援してきた。栄養面では、「喜び」「楽しみ」につながる食事の提供や、望ましい食習慣などの情報提供にも取り組んできた。医師からの食事制限についても加齢に伴い頑なになりつつあるため、なかなか進まない状況ではあるが摂取量を少しずつ減らすなど、無理なく出来る方法で支援を進めている。

職員の資質向上を目的として、ホーム内外の研修へ積極的に参加し、利用者支援の向上に繋げている。今後も楽しく、豊かな地域生活を送れるよう町内会行事への参加や、利用者の希望する旅行やレクリエーションなどを個別支援計画に取り入れて利用者に満足していただけるように支援していきたい。

1. 業務計画の実施状況

1) 利用者の立場に立った丁寧かつ適切な支援	利用者が無理なく取り組める健康維持の支援、転倒などの事故予防のための散歩や歩行訓練などの支援を行った。
------------------------	---

2) サービスの質向上に向け、積極的に研修会へ参加する	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修 4回 4名参加 法人職員新任職員研修会 2名参加 園内研修会 2回 10名参加
3) 利用者と保護者の要望に即した個別支援計画の作成と実施	利用者、家族からの要望に基づいた個別支援計画を作成し実施することができた。
4) 健康の維持	<ul style="list-style-type: none"> 定期通院； すどう内科、依田内科、渡辺医院、田中歯科、うえはら耳鼻科、松田皮膚科等 早期対応通院； 釧路優心病院 健康診断； 身体測定、聴打診、定期通院による個別的な血液検査などを実施 がん検診； 大腸、胃、乳、肺ガン健診実施 精神科内服者； 血液、尿検査実施 インフルエンザ予防接種； 11月 22名、全職員実施
5) 町内会活動への積極的参加	町内会の行事； 清掃、運動会、盆踊り、新年会、古紙回収等

2. 行事計画の実施状況

月	すみれ	はまなす	葵	すずらん
4	町内会古紙回収 8日 町内会清掃 16日 利用者1名東京旅行	町内会古紙回収 8日 町内会清掃 16日	町内会古紙回収 8日 町内会清掃 16日	町内会古紙回収 8日 町内会清掃 16日
5	阿寒家族合同宿泊旅行 13～14日 (5名、家族3名) チューリップフェア	阿寒家族合同宿泊旅行 13～14日 (6名) チューリップフェア	阿寒家族合同宿泊旅行 13～14日 (5名) チューリップフェア	阿寒家族合同宿泊旅行 13～14日 (6名、家族2名) チューリップフェア
6	ホーム懇談会 4日 町内会運動会 18日(2名) ふれあいビールパーティー24日(1名) ふれあい広場 25日(4名)	ホーム懇談会 4日 町内会運動会 18日(4名) ふれあいビールパーティー24日(2名) ふれあい広場 25日(5名)	ホーム懇談会 4日 町内会運動会 18日(1名) ふれあいビールパーティー24日(1名) ふれあい広場 25日(2名)	ホーム懇談会 4日 町内会運動会 18日(1名) ふれあいビールパーティー24日(2名) ふれあい広場 25日(6名)
7	巖島神社例大祭 7～9日 鶴が丘学園スポーツレク 23日(4名)	巖島神社例大祭 7～9日 鶴が丘学園スポーツレク 23日(4名)	巖島神社例大祭 7～9日 鶴が丘学園スポーツレク 23日(4名)	巖島神社例大祭 7～9日 鶴が丘学園スポーツレク 23日(4名)
8	くしろ港まつり 4～6日 町内会盆踊り 11日(5名) 鶴居宿泊旅行 16～17日 アジャタ大会 23日(2名)	くしろ港まつり 4～6日 町内会盆踊り 11日(6名) 鶴居宿泊旅行 16～17日	くしろ港まつり 4～6日 町内会盆踊り 11日(4名) 鶴居宿泊旅行 16～17日	くしろ港まつり 4～6日 町内会盆踊り 11日(5名) 鶴居宿泊旅行 16～17日 アジャタ大会 23日(1名)

9	ひかりの里祭 6 日 鶴が丘学園祭 24 日(3 名)	ひかりの里祭 6 日 鶴が丘学園祭 24 日(3 名)	ひかりの里祭 6 日 鶴が丘学園祭 24 日(4 名)	ひかりの里祭 6 日 鶴が丘学園祭 24 日 5 名 札幌ライオンキング観劇 27 ～28 日(3 名、家族 1 名)
10	阿寒湖一泊旅行 11～12 日(6 名、家族 2 名)	阿寒湖一泊旅行 11～12 日(3 名)	阿寒湖一泊旅行 11～12 日(2 名)	阿寒湖一泊旅行 11～12 日(1 名)
11	インフルエンザ予防接種 札幌ライオンキング観 劇 8～9 日(1 名)	インフルエンザ予防接種 札幌ライオンキング観 劇 8～9 日(2 名)	インフルエンザ予防接種 札幌ライオンキング観 劇 8～9 日(2 名) 利用者 1 名函館旅行	インフルエンザ予防接種 札幌ライオンキング観 劇 8～9 日(1 名)
12	鶴居グリーンパーク一泊 旅行 1～2 日(1 名) クリスマス会 25 日	鶴居グリーンパーク一泊 旅行 1～2 日(1 名) クリスマス会 25 日	クリスマス会 25 日	鶴居グリーンパーク一 泊旅行 1～2 日(2 名) クリスマス会 25 日
1	町内会新年会 27 日(2 名)		町内会新年会 27 日(1 名)	町内会新年会 27 日(1 名)
2	釧路冬まつり 3～4 日	釧路冬まつり 3～4 日	釧路冬まつり 3～4 日	釧路冬まつり 3～4 日
3	歳末助成食事会 4 日(5 名) ホーム懇談会・焼肉パー ティー18 日	歳末助成食事会 4 日(6 名) ホーム懇談会・焼肉パー ティー18 日	歳末助成食事会 4 日(5 名) ホーム懇談会・焼肉パー ティー18 日	歳末助成食事会 4 日(6 名) ホーム懇談会・焼肉パー ティー18 日
*その他の行事～誕生会 (利用者さんの誕生日)・避難訓練・体重測定 *利用者さんの希望する旅行・レクリエーション (外出、食事会、カラオケ)				

3. その他

・寄 贈： 7 件 評価額 16,500 円 ・物品名： お菓子、ジュース、野菜、肉等

平成 29 年度 入居者の状況

入居者の状況

(名)

月 別	前月末在籍者数	入居者数	退居者数	当月末在籍者数
4 月	2 2	0	0	2 2
5	2 2	0	0	2 2
6	2 2	0	0	2 2
7	2 2	0	0	2 2
8	2 2	0	0	2 2
9	2 2	0	0	2 2
1 0	2 2	0	0	2 2
1 1	2 2	0	0	2 2
1 2	2 2	0	0	2 2
1	2 2	0	0	2 2
2	2 2	0	0	2 0
3	2 2	0	0	2 2
合 計		0	0	

障害相談支援室 鶴が丘事業報告

相談支援においては計画相談を継続して行い、年間を通して新規に障がい者 5 件の計画相談を実施し、就労並びに障がい児相談支援を軸に家庭支援等幅広く福祉サービスを提供することができた。

利用者のニーズに寄り添い地域生活への移行や安定した生活に向け、障がい福祉サービスについての様々な情報提供をはじめ自己決定に必要な提案、助言、支援を行い、利用者及び家庭支援を中心とした安心・安全な生活を実現するために支援計画を作成・実行し、よりよい総合的なサービスの提供をはかることができた。

1. 事業の実施状況

1) 福祉サービス利用者の計画相談支援	サービス利用支援 12 回、継続サービス利用支援 26 回、障がい児支援利用援助 3 回、継続障がい児支援利用援助 7 回の計画相談支援を行った
2) 障がい児相談サービス支援	処遇困難ケースについては、相談室が中心となり釧路市こども支援課、児童相談所、特別支援学級、放課後デイサービス等の支援、相談関係者によって個別ケース会議を開催し、それぞれが取組める最善の利益についての確認と方向性について検討を実施した
3) サービスの質の向上を目的とした、積極的な研修会への参加	外部研修； 4 件 4 名参加 相談支援部会； 4 回 6 名参加 専門的な研修及び他機関、地域資源との協働をはかることができた

かしわ保育園

平成 29 年度の事業計画に基づき、各係の連携を深めながらそれぞれの専門性の向上と保育園としてのレベルアップを目指してきた。

保育理念である子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの健やかな心と体の育ちを大切に保育を行ってきた。また重点項目に基づき、情緒の安定と体力・健康の増進を図るため各行事等の充実と裸足保育、音楽リズム、戸外活動、ヨサコイ、スケート体験学習など、日々の保育の中で体力づくりに取り組むことができた。また、歯の生え変わる 4 才～5 才児のフッ化物洗口を継続し生涯を通じた口腔の健康づくりを進めてきた。

乳児保育、障がい児保育等特別保育事業の充実では年齢別の集団保育を中心に個々の目標に沿った個別支援や異年齢保育を取り入れながら保育を展開してきた。更に発達支援センターなどの専門機関と連携をし情報を共有しながら支援を進めてきた。今後も継続し連携を深めていきたい。

食育では、各クラスでプランターや畑で野菜作りをしその食材を使ってクッキングをしたり、行事等のバイキングなど、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ食を営む力を育ててきた。

またアレルギー児の対応では定期的な会議や家庭との面談を重ね個別に応じた対応食と安全確保に努め、献立の充実をはかることができた。

家庭への支援では、子育てや発達に不安や課題を抱えた保護者に寄り添い、嘱託医と連携を密にしなが
ら個別の支援に努めてきた。さらに、保育課程や指導計画内容の編成会議を定期的に行い、「子どもの最善
の利益」の実現に向け、質の高い保育を展開してきた。

地域交流や小学校との連携強化では、小学校一日体験入学、中学校体験学習の受け入れ交流、ボラン
ティアによる英語のふれあい遊び、高齢者を招いてお餅つきや伝承遊びを楽しんだり豊かな体験を通して
保育内容の充実をはかってきた。

保育環境面では、園庭のネットフェンス修繕、マニュアルの見直しなどを行い子どもがより安全で安心
できる環境の中で伸び伸びと保育を受けることができるよう園内外の環境整備に努めた。

また障がいを持つ子の独歩獲得に向けて1階廊下に手すりを設置した。

今後も愛光保育園と情報の共有と連携をはかり子ども子育て支援新制度に対応していくために自己評
価や園評価を継続し、施設内外の研修を通じて一人ひとりの資質向上と職員全体の専門性の向上に努めて
いきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 情緒の安定と体力・健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の体力と健康の増進をはかるため裸足保育の実施や、乳幼児の日光浴ではバルコニーを利用して戸外活動を日々の保育の中で多く取り入れ実施した。 ・音楽リズムを日々の保育に積極的に取り入れることができた。 ・嘱託医による内科検診を年2回、歯科検診を年1回行い、4・5才児は毎日のフッ化物洗口を行って口腔内の健康に努めた。 ・園舎内や玩具等の消毒を随時行い、感染症の流行を防ぐとともに、保護者への情報提供や各種予防接種の啓蒙に努めた。
2) 乳児保育、障がい児保育等特別保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズを充足するため、乳児保育、障がい児保育では家庭と関係機関を密にしながら個別支援を行い、年4回ケース会議を実施。 ・延長保育（18：00～19：00）延1397名の利用があった。
3) 食育及びアレルギー対応食の安全と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・食を営む力を育むため、栄養士による食育指導を毎月実施し、食の充実をはかった。 ・園での取り組みを家庭と共有するため献立表、給食だよりを毎月発行し、また継続して給食アンケートを実施し給食の質の向上と食育に活かしていきたい。 ・アレルギー児の対応では毎月会議を実施し家庭との面談を重ね個別に応じた対応食と安全確保と献立の充実を図ることができた。 ・給食従事者と乳児担当保育士の検便検査を毎月行い感染予防、衛生面の徹底に努めた。
4) 子育て・家庭支援の連続強化	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携をはかるため個別の連絡ノート、毎月園だより、クラスだよりを発行し活動方針や理解と協力を深めてきた。 ・保育参加・懇談会年2回実施し子どもの成長、発達を共有し、保護者間の情報交換など家庭支援につながるよう努めた。

<p>5) 自己評価による保育の質向上と研修体制の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価、園評価を継続して行ってきたが、さらに一人ひとりの資質向上と職員全体の専門性の向上のため、園内外の研修をより強化して行っていきたい。 ・保護者の意見やニーズを明確にし今後の保育や園運営に活かしていくため、保護者アンケートを年1回実施している。 <p>(1) 研修会等参加</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>① 社会福祉研修所「乳児保育担当保育士研修」</td><td style="text-align: right;">参加者 1名</td></tr> <tr><td>② " 「障がい児保育担当保育士研修」</td><td style="text-align: right;">" 2名</td></tr> <tr><td>③ " 「リスクマネジメント研修」</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>④ " 「新任経理総務担当者研修」</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑤ 釧路市私立保育園連合会園長会(12回)</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑥ 釧路市私立保育園連合会保育士研修(2回)</td><td style="text-align: right;">" 18名</td></tr> <tr><td>⑦ 道東3地区(釧路・帯広・北見地区)園長研修</td><td style="text-align: right;">" 2名</td></tr> <tr><td>⑧ 釧路市保育協議会園長・主任研修会(1回)</td><td style="text-align: right;">" 2名</td></tr> <tr><td>⑨ 釧路市保育協議会主任研修(1回)</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑩ 釧路市保育協議会保育士研修会(1回)</td><td style="text-align: right;">" 10名</td></tr> <tr><td>⑪ 北海道保育研究大会(小樽市)</td><td style="text-align: right;">" 2名</td></tr> <tr><td>⑫ 保育士等キャリアと育成セミナー</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑬ 日保協予算等説明会</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑭ 道共済社会保険事務講習会</td><td style="text-align: right;">" 1名</td></tr> <tr><td>⑮ 釧路保健所給食管理者研修</td><td style="text-align: right;">" 2名</td></tr> <tr><td>⑯ 釧路市調理員研修(2回)</td><td style="text-align: right;">" 4名</td></tr> </table> <p>(2) 施設内研修</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>①救命救急</td><td style="text-align: right;">参加者 25名</td></tr> <tr><td>②音楽リズム</td><td style="text-align: right;">" 18名</td></tr> <tr><td>③事故対応マニュアルの見直し</td><td style="text-align: right;">" 23名</td></tr> <tr><td>④嘔吐処理について</td><td style="text-align: right;">" 22名</td></tr> </table>	① 社会福祉研修所「乳児保育担当保育士研修」	参加者 1名	② " 「障がい児保育担当保育士研修」	" 2名	③ " 「リスクマネジメント研修」	" 1名	④ " 「新任経理総務担当者研修」	" 1名	⑤ 釧路市私立保育園連合会園長会(12回)	" 1名	⑥ 釧路市私立保育園連合会保育士研修(2回)	" 18名	⑦ 道東3地区(釧路・帯広・北見地区)園長研修	" 2名	⑧ 釧路市保育協議会園長・主任研修会(1回)	" 2名	⑨ 釧路市保育協議会主任研修(1回)	" 1名	⑩ 釧路市保育協議会保育士研修会(1回)	" 10名	⑪ 北海道保育研究大会(小樽市)	" 2名	⑫ 保育士等キャリアと育成セミナー	" 1名	⑬ 日保協予算等説明会	" 1名	⑭ 道共済社会保険事務講習会	" 1名	⑮ 釧路保健所給食管理者研修	" 2名	⑯ 釧路市調理員研修(2回)	" 4名	①救命救急	参加者 25名	②音楽リズム	" 18名	③事故対応マニュアルの見直し	" 23名	④嘔吐処理について	" 22名
① 社会福祉研修所「乳児保育担当保育士研修」	参加者 1名																																								
② " 「障がい児保育担当保育士研修」	" 2名																																								
③ " 「リスクマネジメント研修」	" 1名																																								
④ " 「新任経理総務担当者研修」	" 1名																																								
⑤ 釧路市私立保育園連合会園長会(12回)	" 1名																																								
⑥ 釧路市私立保育園連合会保育士研修(2回)	" 18名																																								
⑦ 道東3地区(釧路・帯広・北見地区)園長研修	" 2名																																								
⑧ 釧路市保育協議会園長・主任研修会(1回)	" 2名																																								
⑨ 釧路市保育協議会主任研修(1回)	" 1名																																								
⑩ 釧路市保育協議会保育士研修会(1回)	" 10名																																								
⑪ 北海道保育研究大会(小樽市)	" 2名																																								
⑫ 保育士等キャリアと育成セミナー	" 1名																																								
⑬ 日保協予算等説明会	" 1名																																								
⑭ 道共済社会保険事務講習会	" 1名																																								
⑮ 釧路保健所給食管理者研修	" 2名																																								
⑯ 釧路市調理員研修(2回)	" 4名																																								
①救命救急	参加者 25名																																								
②音楽リズム	" 18名																																								
③事故対応マニュアルの見直し	" 23名																																								
④嘔吐処理について	" 22名																																								
<p>6) 地域や小学校との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる英語のふれあい遊びを年4回実施し、歌や踊りを楽しみながら英語に親しむことができた。 ・中学校体験学習受入、保育実習生・看護実習生受入、野のはな園交流、養護老人ホーム長生園交流などを行い地域住民との交流促進に努めた。 ・小学校一日体験入学、就学前の引継ぎなど小学校との連携をはかった。 ・遊戯室・園庭を開放し地域の小学生(延118名)との交流を深めた。 																																								

2. 行事計画の実施状況

月別	行 事 実 施 内 容	
4月	・入園・進級式(4/3)	76名 ・裸足保育開始(4/1)

5月	・保育参加懇談(5/13~6/10) 全クラス ・いも、野菜の種まき(5/24) 61名	・足型取り、掲示(5/8~20) 全クラス ・春の健康診断(5/8・10)
6月	・歯科検診(6/27)	・交通安全指導教室(6/21) 77名
7月	・親子バス遠足(7/7) 52名	・親子お楽しみ会(7/22) 54名
8月	・みなと祭ヨサコイ参加(8/6) 38名	・歩き遠足(8/22) 62名
9月	・第39回運動会(9/10) 83名 ・収穫祭(9/13) 80名	・観劇(9/22・釧路旭夜間保育園合同) 79名
10月	・野のはな園交流会(10/13) ・消防合同避難訓練(10/26) 82名 ・裸足保育終了(10/31)	・秋の健康診断(10/16・17) ・交通安全指導教室(10/24) 77名
11月	・第39回お遊戯会(11/11) 88名 ・野のはな園交流会(11/21)	・長生園交流(11/17) 84名
12月	・クリスマス会(12/25) 87名	・野のはな園交流会(12/26)
1月	・新年おもちつきお楽しみ会(1/19) 90名 ・スケート体験(青組)(1/23・24) 35名 ・保育参加懇談(1/27~2/24) 全クラス	・足型取り、掲示(1/15~27) 全クラス ・スケート体験(白組)(1/31) 20名
2月	・節分(2/2) 91名 ・1日小学校体験入学(2/15) 18名	・お店屋さんごっこ(2/16) 87名
3月	・ひなまつり(3/2) 81名 ・卒園式(3/16) 91名	・お別れ会(3/9) 81名 ・修了式(3/30) 90名

3.補助事業等

事業名； 釧路市保育所等防犯対策強化事業
工 事； 開始日 平成29年11月7日 完了日 平成29年度11月20日
内 容； 園庭ネットフェンス修繕
経 費； 国庫補助金 513,000円 自己資金 172,800円 総事業費 685,800円

平成29年度 入 退 園 状 況 (名)

月 別	前月末在籍児数	入園児数	退園児数	当月末在籍児数
4 月	78	11	9	80
5 月	80	0	0	80
6 月	80	3	1	82
7 月	82	2	0	84
8 月	84	1	0	85
9 月	85	1	0	86
10 月	86	4	1	89
11 月	89	2	0	91
12 月	91	2	0	93
1 月	93	1	0	94

2 月	94	0	0	94
3 月	94	0	0	94
計		27	11	

- ・保育日数 297 日
- ・保育延人数 21,052 名
- ・平成 29 年度卒園児 18 名

愛 光 保 育 園

保育の理念である子どもたちの人権や主体性を大切に、一人の独立した人格として尊重した保育をするとともに、子どもたちが大切にされていると実感できる保育を実践してきた。

また重点項目に基づき体力・健康の推進では戸外遊びを多く取り入れるとともに、園庭に以上児向けの遊具を設置、子ども達が全身を使って体を動かし遊ぶことで体力や運動能力向上を図り、戸外遊びの充実を図ることが出来た。また、音楽リズムや昨年度より行っているわらべうたなど定期的に講師による指導を園児・職員一緒に行うことで聞く、話す等のことばの土台を作ること、保育士や友だちと触れ合うことで情緒的な結びつきを深め伝承文化を伝えることが出来た。

環境整備では園庭入口の門扉を設置することでより子ども達の安全と保護者の安心に繋がるよう配慮した。全クラス保護者との情報を共有するため、園生活の様子を写真で示し定期的に園内掲示をし、園児個々の連絡帳、園・クラスだより、参観懇談や個別懇談・送迎時のコミュニケーションをとる等積極的に関わってきた。年に 1 回、保育・食育関係のアンケート調査を実施し園児の生活環境を理解することや、保護者の意向をくみ取り反映することでより良い保育を実現できるよう努めた。

子育て・家庭支援の連携では、保育園内だけでは解決できないケースも多数あり、関連機関と連携して課題解決の糸口を探り、支援が必要な園児に対しては前年度から継続して保育所等訪問支援事業を利用し、子どもの最善の利益につながっている。

食育の充実では、栄養士が和食を中心とした季節感のある園独自の献立を作成し、旬のものや地元の野菜など幅広い食材を使用するよう配慮してきた。また、子どもたちが意欲を持って給食に取り組めるよう、保育と連携した季節の行事食、アレルギー除去の代替食実施、栄養士の食育指導、年齢毎のクッキング、野菜の栽培等に取り組んできた。

中部子育て支援拠点センターサテライトよちよちひろば新橋は、3月までの間に延べ 13,156 人(5,820 組)の利用があり、月に一度行われる子育て講座(愛光保育園嘱託医(小児科・歯科医)による講座や栄養士による離乳食について、職員による手作りおもちゃで遊ぼう等)には、361 名(162 組)の参加があった。開設してから 2 年 8 か月が経過し、実際に利用者の方が保育園の園開放を利用してくれたり、他の支援センターと情報を共有することで地域にも認知されてきたと実感することも多く、今後も親子の閉塞感・不安感・孤独感を解消し、子育てにゆとりと自信を持ってもらえるよう引き続き支援をしていきたい。

地域交流促進としては、保育園の開放事業、保育士を目指す実習生のみならず看護師を目指す実習生の受入、小中学生の総合学習としての交流・高校生のボランティア活動の受入、ボランティアの絵本読み聞かせ、高齢者との交流等、地域の方々と情報を共有している。子どもたちが多くの人たちと触れ合うために近隣の行事に参加したり、行事の案内等を子どもたちが直接手渡しすることで交流が深まり、職員も町内会の行事や研修に参加することで、地域に根差した保育園としての効果を実感している。

保育の質を高めるために外部講師による園内研修の実施、園外研修など多くの職員が参加し学んだこと

をさらに共有し合い、研修の充実を図ることが出来た。

子ども・子育て支援制度の取り組みについては、今後もしわ保育園と両園で保育制度等の情報を共有し、保育指針の改定にあわせてカリキュラムの見直しを行いながら、今後も保育内容に充実に努めていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 情緒の安定と体力・健康の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の体力と健康を図るため、乳児（延べ人数 144 名）の外気浴を多く取り入れた。 また、音楽リズムやわらべうたなど定期的に講師を呼び、園内でも保育士と一緒にやる事で、身体の発達や情緒の安定など高めていけるよう努めた。 ・知育の発達を促すため、5 歳児には個別の教材を使用し文字・数字の獲得に努めた。 ・昨年度同様、嘱託医による内科検診を年 2 回、歯科検診は年 1 回行い各種予防接種の啓蒙を積極的に行う事で子どもたちの健康を促進することができた。 ・ノロウィルスが流行したが、早期に関連機関に連絡したことで迅速に対応終息することができた。
2) 食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が意欲を持って給食に取り組めるよう季節の食材を取り入れ、アレルギー除去児の代替食、年齢ごとのクッキングや野菜の栽培等に取り組んできた。また、月 1 回栄養士による食育指導を行い、『食を営む力』の基礎を伝えた。 保護者の方にも毎月 1 回食育便りや給食献立表を配布、年に 1 度食育アンケートを実施し意見を取り入れたり、参観懇談会では保護者を対象に食育・給食試食会を実施、保護者の意向をくみ取り反映することで食育の充実を図った。
3) 子育て・家庭支援の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育利用は年間通して 2,490 名あり、各家庭のニーズに対応しながら、子ども達の気持ちに寄り添った保育を心がけた。 ・連絡帳やおたよりの他にも参観懇談会や個別懇談などで園と家庭の情報を共有し、保護者や園児に寄り添った保育ができるよう連携を深めていった。 ・保育アンケートを年 1 回実施、結果をおたよりと参観懇談会で伝え様々な意見をもらい共有することで、次に繋げていくことができた。 ・園での解決が困難な家庭のケースに関しては道や市の関係機関と連携し、支援が必要な園児に対しては個別の訪問支援事業を活用していった。

4) 地域交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 園開放事業、保育・看護学校の実習生の受入、小中生の総合学習として園児との交流、近隣の高校・読み聞かせボランティアとの交流、地域の催し物等に園児や職員が積極的に参加し、地域との連携を図ることができた。
5) 自己評価による保育の質向上と職員体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 保育の質を高めるために園と保育者の自己評価を毎年行い、年間の職員研修計画に基づき研修の充実を図った。 [主な研修内容] (1) 研修会参加 <ul style="list-style-type: none"> ① 園長研修(年 12 回) 延参加人数 1 名 ② 3 地区園長研修 " 1 名 ③ 認定こども園セミナー(東京) " 1 名 ④ 釧路保育協議会主任研修 " 1 名 ⑤ 栄養士研修(年 12 回) " 12 名 ⑥ 私立保育園連合会主催研修(2 回) " 15 名 ⑦ 釧路保育協議会主催研修会(1 回) " 20 名 ⑧ 北海道保育全道大会(小樽) " 3 名 ⑨ 道社協保育士研修(札幌) " 1 名 ⑩ 道社協障がい児研修(〃) " 3 名 ⑪ 道社協乳幼児研修(〃) " 1 名 ⑫ 道社協リスクマネジメント研修(〃) " 1 名 ⑬ 釧路保健所主催感染予防研修 " 1 名 ⑭ 日保協予算等説明会(札幌) " 1 名 (2) 施設内研修 <ul style="list-style-type: none"> ① 救命救急法について " 21 名 ② 保育(集団)における特性のある子への対応について " 17 名 ③ 音楽リズム " 60 名 ④ 嘔吐処理について " 20 名 ⑤ 虐待について " 20 名
6) 子ども・子育て支援制度に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、子育て支援制度の取り組みについては、引き続きかしわ保育園と保育制度等の情報を共有し、保育内容の充実に努めていく。 保育指針の改定にあわせてカリキュラム会議を実施、見直しを行っている。
7) 子育て支援拠点センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> よちよちひろばに寄せられる相談内容は生活習慣についてのものから、育児の方法や発達に悩むものまで多岐にわたり、市との連携が必要と思われるケースについては、保健師に繋ぐなど迅速に対応、孤独感を解消し子育てにゆとりと自信をもってもらえるよう働きかけた。
8) 改築に向けた施設整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 内容を検討し、今後も改築に向けた計画を策定していく。

2. 行事計画の実施状況

月	行 事 等			
4月	・入園・進級式(4/2)	100名		
5月	・保育参観懇談(5/7～)	全クラス	・野菜の種まき(5/12)	87名
	・内科検診(5/11, 5/12, 5/22)	108名		
6月	・歯科検診(6/8)	92名		
	・清掃デー(6/5)	56名	・交通安全教室(6/28)	95名
7月	・親子バス遠足(7/1)	60名	・清掃デー(7/5)	54名
	・歯科検診(7/18)		・内科検診(7/6)	3名
8月	・避難訓練-愛国小学校(8/8)	90名	・清掃デー(8/3)	55名
9月	・運動会(9/17)	98名	・観劇(9/28)	101名
	・収穫祭(9/13)	67名	・清風荘祭(9/30)	21名
	・清掃デー(石拾い・9/5)	56名	・歩き遠足(9/22)	55名
10月	・消防合同避難訓練(10/11)	90名	・内科検診(10/3, 4, 12)	103名
	・交通安全教室(10/16)	95名	・歯科検診(10/13)	3名
11月	・お遊戯会(11/18)	101名	・内科検診(11/22)	6名
	・交通安全教室(11/29)	96名		
12月	・クリスマス会(12/25)	95名		
1月	・新年おもちつきお楽しみ会(1/12)	91名		
	・保育参観懇談会(1/20～)	全クラス	・お店屋さんごっこ(1/19)	97名
2月	・節分(2/2)	100名	・小学校体験入学(2/23)	20名
	・人権擁護教室(2/15)	97名		
3月	・ひなまつり(3/2)	93名	・お別れ会(3/9)	97名
	・卒園式(3/14)	104名	・修了式(3/30)	99名
	・避難訓練(3/22)	98名		

3. 補助事業等

事業名：	釧路市保育所等防犯対策強化事業		
工事：	開始日	平成29年11月20日	完了日 平成29年12月26日
内容：	園庭ネットフェンス両開き門扉設置		
経費：	国庫補助金	963,000円	
	自己資金	322,200円	総事業費 1,285,200円

平成29年度 入退園状況

(名)

月 別	前月末在籍児数	入園児数	退園児数	当月末在籍児数
4月	83	24	3	104
5月	104	2	1	105
6月	105	0	0	105
7月	105	2	1	106
8月	106	1	0	107
9月	107	3	2	108
10月	108	1	1	108
11月	108	1	2	107
12月	107	0	1	106
1月	106	2	0	108
2月	108	0	0	108
3月	108	0	0	108
計		36人	11人	

- ・保育日数 297日
- ・保育延人数 24,742名
- ・平成29年度卒園児 22名

平成29年度 子育て支援センターよちよちひろば 来園状況

(名)

月 別	組 数	人 数	子育て講座
4月	442	1,020	13組27名「ハンドマッサージ」
5月	370	835	11組24名「子育てについて」
6月	459	1,004	17組34名「乳歯のお手入れ」
7月	470	1,086	14組36名「ムーブメント」
8月	510	1,173	19組44名「手作りおもちゃ」
9月	549	1,234	14組32名「子どもの感染症」
10月	525	1,180	
11月	472	1,042	13組29人名ミニミニ運動会
12月	456	1,027	28組63名「クリスマス会」
1月	523	1,172	16組35名「手作りおもちゃ」
2月	443	1,005	9組20名「子どものおやつ」
3月	601	1,378	8組17名「保育園で遊ぼう」
計	5,820	13,156	162組361名